

インナー大会 プレゼン部門 2019 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) タカサキケイザイダイガク	フリガナ) チイキセイサクガクブ	フリガナ) モリ チカコ
高崎経済大学	地域政策学部	森 周子ゼミ

※大会申込書に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) ロウドウチーム	フリガナ) ミヤザキ カツヤ	4	無	
労働チーム	宮崎 克也			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

実際に公立中学校に勤務する方に聞いた 1 日のタイムスケジュール

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。

研究テーマ (発表タイトル)

中学校教諭の労働

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

私たちのチームでは、文部科学省の教員勤務実態調査 (平成 28 年度) の分析結果及びその確定値を見て、教員の労働時間は非常に長いのではないかと考え、教員の長時間労働の是正を研究の目的とした。また、教員の中でも中学校教諭に絞った理由としては、前述した教員勤務実態調査に加え、2018 年に行われた OECD (経済協力開発機構) の調査で、日本の小中学校教員の労働時間は世界一長いというデータを見て、部活動の顧問等のある中学校教諭は抱える業務がより多いのではないかと考えたからである。このプレゼンでは、中学校教諭の労働の現状と課題から、その解決策についての研究成果を発表する。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

中学校教諭の労働時間は、平成 28 年度に実施された教員勤務実態調査によると、1 日当たりの学内勤務時間が平均で 11 時間 32 分になることが分かった。また、半数を超える中学校教諭が 1 週間当たりの総勤務時間が 60 時間を超えている。労働

基準法では、1日8時間、週40時間以内の労働が認められているため、半数以上の中学校教諭が1週間当たり20時間、1ヶ月で計算すると80時間以上の時間外労働をしていることになる。これは過労死ラインの基準を超える数値である。調査結果を見ると教員の労働時間が長時間化している要因としては、授業時間よりも、事務処理業務と部活動等の課外活動における指導等が大きくかかわっていることが明らかになった。

3. 研究テーマの課題

中学校教諭の業務を調べていくと、その労働時間が非常に長いことが分かった。さらに、教員の労働時間が長くなっている要因が、授業時間ではなく、事務業務や部活動等の課外活動における指導であることも分かった。教員の労働時間を縮小するうえで、こういった授業時間以外の業務時間を縮小することが課題であると私たちは考える。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

私たちのチームでは、中学校教諭の労働の労働時間を短くするために授業時間以外の業務時間を縮小すべきであると考えた。特に、事務処理業務や部活動等の課外活動が負担となっていることから、事務処理業務についてはAIやRPAの導入やSSS（スクールサポートスタッフ）の導入を推奨することで、部活動については部活動指導員の導入を推奨することで教員の授業時間以外の業務時間が縮小し、全体の労働時間の縮小にもつながるのではないかと考えた。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

- ・実際に公立中学校に勤務する方へのアンケート調査
- ・公的な調査のデータの比較

6. 結果や今後の取り組み

今回の研究を通じて、文部科学省が教員の労働時間縮小に向けて推奨している変形労働時間制の導入は困難であることが分かった。今後の取り組みとしては、今回のプレゼンであげた課題解決策以外で新たな、そして革新的な課題解決策を探究していくことである。

7. 参考文献

- ・educ(2019)「学校現場に特化したRPA導入支援サービス」

https://www.educe-ac.com/docs/pressrelease_rpa_ver2019-03-05.pdf

- ・厚生労働省「過労死等防止啓発パンフレット」（web最終閲覧日：2019年9月25日）

https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11202000-Roudoukijunkyoku-Kantokuka/0000138040_1.pdf

- ・国立教育政策研究所「OECD国際教員指導環境調査（TAILS）」

（web最終閲覧日：2019年7月10日）

<http://www.nier.go.jp/kenkyukikaku/talis/index.html>

・東京都教育委員会（2018）「スクール・サポート・スタッフ活用事例集」

http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/staff/personnel/school_affairs/files/presentation_2018/301119_04.pdf

・名古屋市 2013 年 9 月 25 日「部活動」

<http://www.city.nagoya.jp/kyoiku/page/0000051145.html>

・文部科学省「我が国の教員の現状と課題－TAILS2018 結果より－」

（web 最終閲覧日：2019 年 7 月 10 日）

http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/data/Others/1349189.htm

・文部科学省（2017）「部活動指導員の制度化について」

http://www.mext.go.jp/prev_sports/comp/b_menu/shingi/giji/_icsFiles/afiedfile/2017/10/30/1397204_006.pdf

・文部科学省中央教育審議会（119 回）2018「一年単位の変形労働時間制について」

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/gijiroku/_icsFiles/afiedfile/2018/11/27/1411330_4_1.pdf

・文部科学省(2018)「教員勤務実態調査（平成 28 年度）の分析結果について」

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/30/09_icsFiles/afiedfile/2018/09/27/1409224_002_3.pdf

・文部科学省(2018)「教員勤務実態調査（平成 28 年度）集計【確定値】」

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/30/09_icsFiles/afiedfile/2018/09/27/1409224_003_3.pdf

文部科学省（2018）「平成 28 年度学校教員統計調査（確定値）の公表について」

http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afiedfile/2018/03/28/1395303_01.pdf

文部科学省（2015）「学校や教職員の現状について」

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/052/siryu/_icsFiles/afiedfile/2015/02/18/1355024_4.pdf

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経 BP マーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡します。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・株式会社日経 BP マーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、ご提出ください